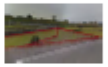
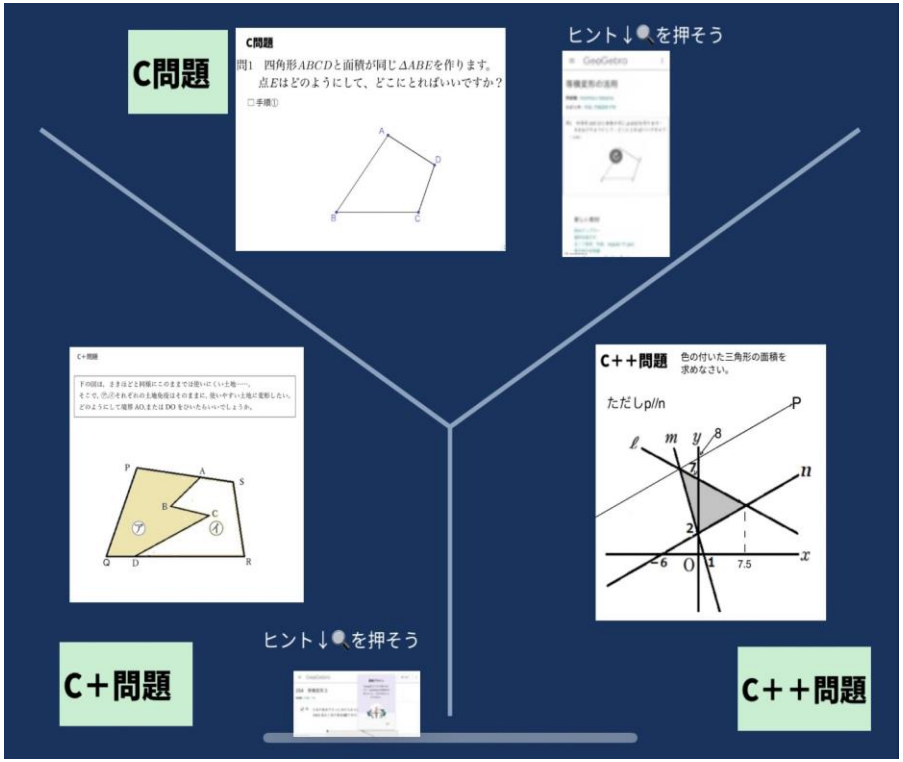
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

紀の川市立那賀中学校

【取組内容①】 相手が理解しやすいように構成して伝えることができる。

数学科学習指導案

1　日　　時　　令和５年７月１１日(火) 13:25～14:15
2　学年・組　　第２学年（20 名）
3　単 元 名　　第５章　図形の性質の証明「等積変形」
4　情報活用能力について
　⑥相手が理解しやすいように構成して伝えることができる。
5　本時の目標
　平行線と面積の関係に着目して，１つの図形を面積の等しい別の図形に変える方法を考察し表現することができる。
6　本時の展開（16／17）

学習活動	Tool	・指導上の留意点	◇評価【観点】(方法)
1．前時の学習を振り返るためにペアと確認課題(A 問題)に取り組む。	電子黒板	・なぜ面積が等しくなるかを確認させる。点 A を動かしていく位置がどのような位置かを考えさせ，平行線の性質を想起させる。	
2．本時のめあてを確認する。 めあて･･･三角形以外の図形を等積変形しよう			
3．本時の課題(B 問題)へ。 ・AC を引き，△ABC を等積変形する。 ・解法がわからない場合，ヒントを頼りにペアと取り組む。最終的に『数学学習ツール』アプリでシミュレーションする。	ﾀﾌﾞﾚｯﾄ	・学習問題が自分の身近な問題であることを意識させて意欲の向上を図る。 ・問題の内容がわからないといった状態にならないように，変形後の形をみせる。	◇平行線と面積の関係について考え，判断し，説明することができる。【思考・表現・判断】 ☆ヒントカードを学習ツールで配布。最終的に『数学学習ツール』アプリでシミュレーション
B 問題 下のような土地⑦，④がある。このままでは使いにくい！ ⑦も④も面積はそのままに，お互い使いやすい土地となるような新しい境界線を引きなさい。			
4．B 問題を学習ツールに提出できた生徒からＣ問題へ	ﾀﾌﾞﾚｯﾄ	・三角形以外の多角形を等積変形するにはまず三角形をつくること，なぜ面積が変わらないのか，などを確認させる。	◇平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
5．全体で学習を振り返り，フォーム作成ツールを使い個人で振り返る。	ﾀﾌﾞﾚｯﾄ